

はちこくさんじゅうそう コース 7 八石山縦走

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成28年 5月 8日(日) 天 候 快晴
 参加者 27 (男性 7 女性 20) グレード B上~C
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所		5:57	県道252は小型バスがやっと通行可
八王子、スキーハウス	7:50	8:05	岩場コース無事通過の後大岩鏡がよい色で咲く
姥石展望小屋(上八石)	9:15	9:25	八王子集落へのコースの分岐下り上りが滑りやすい
中八石(八石山頂)	9:50	10:05	360°の大展望だが遠方の山々はモヤで見えない
久之木峠	10:30	10:35	滑りやすい急降下慎重に降りる。峠で浦島草
下八石(南条八石)	11:00	12:00	快晴の中気持ちよく昼食。避難小屋、祠、WC
赤尾八石	12:30	12:40	大きな展望台が建てられてある
沢コース下降点(鞍部)		12:40	二輪草の大偶成はじめ沢全体が花で覆われ感激
登山口P	14:00	14:20	Pが満杯で下方に待機していたバスを呼ぶ
秋葉区役所	16:30		コンビニ、米Pに立ち寄って帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- 北陸高速道を柏崎 IC に近づくと、前方米山の手前左手少し奥に低い山並みを連ねているのが見える。それが八石山で、東頸城丘陵の南端に位置している。“八石”とは、“数多くの峰”の意味らしい。
- 以前、高橋ミツ幹事が、赤尾八石~中八石のを秋にやっていたが、今回は南端の上八石(旧小国町八王子地区)から北方向へ、中・下(南条)・赤尾八石へと縦走した。
- 実施時期は稜線沿いのオオイワカガミの開花期に合わせてつもりだったが、今年は1週間から10日位前までに既に咲き終えていた様子で、最初の上八石前後に咲き残りがあるだけ、残念だった。
- その代わりに、最後の下りの沢コースでは、思いかけずに二輪草の大群落に迎えられ、その他キスミレの群生、シラネアオイやエンレイソウの大株、それに下方にカタクリの自生地でのヒロハテンナンショウの花々などが私たちに喜ばせた。
- 当日は幸運にも快晴であったが、米山や黒姫、長岡の丘陵などはよく見えたものの、それより遠い山々はモヤに霞み残念だった。
- また前日はかなりの雨だった様子で、アップダウンの山道は滑りやすく神経を使ったが、ゆっくりと慎重に歩くよう心掛けた。幸いに一人も転倒などしないで(と思っているが)、怪我や事故無く、全員無事に縦走し終えることができた。



八石山の最高峰 518m 中八石
 左手後方は刈羽黒姫山 右手に米山が見える

「八石山縦走」

(840) S/S

バスの右側の窓に枝がガリガリとぶつかり山道へ進み、ステーキハウスの登り口。緑色の鳥居をくぐっていざ出発です。

足下にはワラビが、「私を見つけてよっ」とコーラスのように奏でています。ブナ林の中を気持ちよく歩き、姥石の看板からはロープが2本も下がっている。かなりの急登、ここが岩場か。ストックを仕舞い込み、登っても登っても続くロープ、そしてようやく上八石に到着。

安心してもつかの間で、ここから一旦下り登り返して八石山の最高峰中八石です。お天気に恵まれ、眺望が西に米山、南から東にかけて遠くの山並みが連なり、残雪の山を見ると過ぎし経験した話に盛り上がり、素晴らしい展望でした。

お昼を摂る下八石に着いた時、「ネクスト21があるよ」とよく見たら、縮小サイズの建物でトイでした。登り口が多くあるのか、もう大勢の人たちで賑わっている。「^{うすばさいしん}薄葉細辛見」と誰かが言う。無知な私には、どう見てもカンアオイにしか見えない。聞かせてもらおうと葉の色も明るいいし花も小さく、ちょっぴり理解して納得。

赤尾八石を往復した後、沢コースに進むと木漏れ日の中に二輪草の群落。足を進めてどこまでも続く二輪草。Iさんが「^{さんかよう}山荷葉が見える」と仰っているのに、木漏れ日だよって否定してゴメンナサイ。するとサブリーダーさんが右側の手元付近に山荷葉が咲いていて、やっぱり木漏れ日の中にも咲いていたのね。三輪ついていたのも沢山ある。風に揺られどこまでも続く白い花、疲れた体を十分に癒してくれました。正直どこの道中か忘れましたが、左側に雪笹が一坪くらいに咲き誇っていました。また道中にでも会えるかなと期待していましたがとうとう会えなかった。

刈羽三山の八石山、帰りのコンビニから山を見るとお椀をひっくり返した三つの山があり、よく頑張った自分。ありがとうございました。

(担当リーダーからの一言・・・八石山の山並みを柏崎側から眺めると“^{ねしゃか}寝釈迦”の姿に見えるのが知られています。)



下(南条)八石と赤尾八石の間の沢コースシラネアオイの大株と二輪草(大群生)